

第9回東北圏広域地方計画協議会検討会議 議事要旨

1. 日 時

平成28年1月29日（金） 13時30分～14時40分

2. 場 所

仙台合同庁舎B棟12階 東北地方整備局 大会議室

3. 議 事

（1）東北圏広域地方計画改定について

1）スケジュールについて

2）計画原案（案）について

（2）その他

4. 配布資料

議事次第

出席者名簿

配席図

資料1：東北圏広域地方計画改定スケジュール

資料2：東北圏広域地方計画に対する市町村計画提案と対応方針

資料3：東北圏広域地方計画改定 東北圏の将来イメージ図（案）

資料4：東北圏広域地方計画改定 計画原案（案）要約版

資料5：東北圏広域地方計画改定 計画原案（案）

資料6：東北圏広域地方計画改定 広域連携プロジェクト説明図表（案）

参考資料1：第4回東北圏広域計画改定に関する有識者懇談会 議事要旨（未定稿）

参考資料2：計画原案（素案）に対する意見と対応方針

5. 主な発言内容

(1) 議事

東北圏広域地方計画改定に関するスケジュール、市町村計画提案や計画原案に対する対応方針、将来イメージ図、広域連携プロジェクト等について説明。

各構成機関からの発言は以下のとおり。

●地方公共団体

- ・ 提出した意見は計画原案（案）に適切に反映されている。資料3[将来イメージ図]については、持ち帰り確認する。

●地方公共団体

- ・ ラグビーワールドカップに関する意見等、適切に反映されており、計画原案（案）に賛同する。資料3[将来イメージ図]については、持ち帰り確認する。

●地方公共団体

- ・ 提出した意見は計画原案（案）に概ね反映されている。資料の細かい点は別途実務者レベルで相談させていただきたい。

●地方公共団体

- ・ 提出した意見は計画原案（案）に適切に反映されている。計画原案（案）の内容について指摘させていただく。
- ・ 「はじめに」について、広域地方計画はこれから10年の計画であるが、地方創生について今年度各自治体にて総合戦略を策定しプロジェクトを始めようとしている。そのため、「今まさに、各県、各地域において地方創生に取り組もうとしている」旨盛り込んで頂きたい。
- ・ P50 25行目 「多重性・代替性」の語句の順序を他の箇所含め統一する。
- ・ P68 13行目～18行目 「とともに」「ために」の語句が重複しているので修文する。
- ・ P83 21行目 「企業OB」は男女共同参画の視点から「企業退職者」に修正する。
- ・ P93 16行目～17行目 「～平成25年12月に登録されたが、これは『多様で新鮮な～』に修正する。
- ・ P94 27行目、29行目 「進入」および「侵入」の表記について統一する。
- ・ P97 26行目 「他産業との連携」に修正する。
- ・ P119 20行目 「子育て支援、高齢者介護、障害者支援など」の語句の順序を他の箇所含め統一する。
- ・ P120 7行目、11行目 「図るものとする」「実施されるものとする」の表記について整理、修正する。
- ・ P125 25行目 「サービスエリア・パーキングエリア」に修正する。
- ・ P126 9行目 「災害に強い物流システムの構築に関する協議会」に修正する。
- ・ P134 10行目 「検討が進められており」に修正する。
- ・ P140 4行目～ 文章が長いので途中で改行する。

●地方公共団体

- ・ 提出した意見は計画原案（案）に適切に反映されている。その他の資料については、内部で確認、調整したい。

●地方公共団体

- ・ 資料の細かい点は再度確認したい。資料6〔説明図表〕P4「福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想」の表記があるが、計画原案（案）P122 1 行目に正式名称を入れて頂きたい。

●地方公共団体

- ・ 日本海側の物流輸送ルート、東日本大震災において役割を果たしたりダンダンシー等について記述の必要性を訴えてきたところ、計画原案（案）の第5章プロジェクトにて反映されている。
- ・ 日本海側における具体的取組として、ミッシングリンクの解消、磐越自動車道の4車線化、高速交通体系の整備、エネルギー供給、再生可能エネルギー等により日本海国土軸を形成するものであり、また北陸との連携の記述もある。我々の目指す方向性と同じであり、内容に賛同する。

●地方公共団体

- ・ 計画原案（案）の全体的な内容や基本的方向性に賛同する。資料の表現や写真等の細かい点については精査したい。

●地方公共団体

- ・ 特に指摘事項はない。市では地方版総合戦略を策定したところであり、若者や子育て、教育に投資していくこととしている。資料6〔説明図表〕P8「人口減少・若者定着に向けた取組」において、市の事例を取り上げていただきありがたい。
- ・ 今年度、市の総合計画を策定するに当たり、広域地方計画のエッセンスを入れていきたい。

●地方公共団体

- ・ 資料については持ち帰り確認するが、東北放射光施設の誘致について記述がない。I L C誘致の記述はあるが、どのような整理で計画原案（案）を作成されたのかお聞きしたい。

●事務局

- ・ 当初、I L C誘致と東北放射光施設誘致を記述していたが、再度協議していきたい。

●地方公共団体

- ・ 放射光施設誘致については、現在推進活動を行っている。新たな産業イノベーションの拠点施設となることから、是非入れていただきたい。

●事務局

- ・ 改めて相談、協議させていただく。

●経済界

- ・ 放射光施設誘致の記載について、再検討の余地があれば是非お願いしたい。

●経済界

- ・ 計画原案（案）は、バランスよくまとまっている。経済的な側面から、コンパクトシティをネットワークで結ぶ考え方は東北発展のために必須である。
- ・ 広域連携として、北海道との連携、F I T、北陸との連携の記述が入っている。これらに実際どう取り組んで行くかが課題である。
- ・ 資料3 [将来イメージ図]について、農林水産業の写真が2枚とも米粉である。水産関連の写真を1枚入れてほしい。

●事務局

- ・ 写真については、提供いただけるとありがたい。計画原案（案）の本文については、文言を再チェックする。地方創生については、地方版総合戦略と重複するところがあると思うので「はじめに」に反映したい。

●国の地方行政機関

- ・ 計画原案（案）については、意見が反映されている。資料3、4、6については、今後これらを使って説明をしていくのか。これら資料についての意見を事務局に言えるのか。

●事務局

- ・ 特に資料3は、最終段階に向けて再作成したものであり、計画のPRにあたってどう打ち出すか悩んで示したものである。ご意見、写真等を是非お願いしたい。

●国の地方行政機関

- ・ 三陸ブランドの形成に向けて広域連携は重要であるため、資料3には、水産加工関連の写真を入れていただきたい。

●地方公共団体

- ・ 計画策定後の今年4月以降において、計画の進捗管理に当たり、県や市からの報告などの作業はあるのか。

●事務局

- ・ 計画原案（案）P159に「第6章 計画の推進に向けて」の記述がある。現行計画における取組推進プロジェクトチームは、震災後活動が止まっている状態である。
- ・ 前回同様、推進に向けたプロジェクトチームを設立する必要がある、2月15日までに骨組みを示したい。
- ・ 緊急性のあるもの、関係機関の承認が得られたものから進めていきたい。新規で立ち上げるものと既存の協議会や研究会の活用により、計画の推進および進捗管理を進めていきたい。

●国の地方行政機関

- ・ 計画原案（案）P155 6行目「地域ブランドの確立」について、よく出てくる文言だが、関係者が皆同じことを連想するとは限らない。市町村、地域、商品等、非常に曖昧である。東北ブランドを指すのか、地域の個性を大事にしていくことを指すのか、観光は大事な柱なので説明いただきたい。

●事務局

- ・ 東北ブランドの中で、地域の特性を活かしたものを立ち上げることであり、7県それぞれ特徴がある中で、総じてそれらを含んで東北ブランドとしている。

●国の地方行政機関

- ・ 文章として認識しにくいので、東北ブランド、地域毎のたま磨きについてそれぞれわかるように記述していただきたい。

●事務局

- ・ わかりやすい記述となるよう努めたい。

以 上